

感染症発生状況

令和元年 8 月 8 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年 7 月 29 日（火）～ 8 月 2 日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点 23 園の対象園児数（定員）は 2,635 名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 424 名 【職員】 2 名

1 日あたりの延べ欠席者数 【園児】 84 名（前々週の 1 日あたりの延べ欠席者数 42 名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状：熱（202 名）、下痢・腹痛（22 名）、発疹（18 名）、咳・鼻水（10 名）

疾病別：手足口病（75 名）、気管支炎・肺炎（43 名）、ヘルパンギーナ（22 名）、胃腸炎（13 名）

【職員】 症状：充血（1 名）

夏かぜ、わずかのインフルエンザ、手足口病、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、とびひなど夏特有の伝染病が流行しています。

【症状別の発生状況】

手足口病 厨川、河南、都南地域で減少。玉山、河北、盛南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河南地域で減少。厨川、都南地域で増加しました。

ヘルパンギーナ 厨川地域で減少。玉山、河北、河南地域で増加しました。

胃腸炎 厨川、河北地域で減少。玉山、河南地域で増加しました。

【県の状況（7/22～7/28）】

手足口病は、大船渡及び釜石以外の 8 地区で警報値（定点当たり患者数 5 人）を超えました。年齢別では、3 歳以下の乳幼児が 8 割以上を占めています。乳幼児は口内の発疹により、水分を摂取しにくくなるので、脱水に注意が必要です。また、まれに髄膜炎等を併発する場合がありますので、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診してください。予防には、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、手洗いを励行することが重要です。

ヘルパンギーナは、前週より増加しました。例年、この時期から 9 月頃まで流行するので注意が必要です。本疾患は、38℃以上の発熱とどの痛み、口内に現れる水疱性の発疹を主症状とするウイルス感染症です。予防には、手足口病と同様の対策が重要です。

夏休みに海外へ渡航する方は、感染症に対する正しい知識と予防法を身に付ける必要があります。渡航前に、厚労省検疫所等のホームページで渡航先の情報を確認し、必要に応じて予防接種を受けることが推奨されます。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】